

# 平成 30 年度技術士第一次試験のおしらせ

日本木材学会 産学官連携推進委員会 技術士小委員会

## 1 技術士とは

「技術士」の資格は国家資格（文部科学省管轄）です。技術士は次の資質と能力が備わっていることを国によって認められた高級技術者です。民間企業の技術者だけでなく、大学の研究者、国公立試験研究機関の研究員などが取得しています。

技術士（森林部門－林産）は林産学の専門家を位置付けた国家資格であり、日本木材学会では、技術士小委員会を設置し、会員に受験を奨励しています。

- ・豊富な実務経験
- ・技術的専門知識
- ・高度の応用能力
- ・高い技術者倫理

なお、林産を選択した技術士の活用について林野庁に問い合わせたところ、木材産業課から次の回答がありました。

- ・木材産業課では、補助事業・委託事業の採択に当たって、技術士（森林部門－林産）の参画を重要視している。応募される際、実施団体の中に技術士の有資格者がいる場合には、申請者の属性の「有資格者」欄に「技術士（森林部門－林産）」と明記して頂きたい。
- ・建築・土木等、国民の生命・財産に直接関わる構造物の材料を開発・製造する企業・大学・試験研究機関等の職員においては、技術者倫理を重視する「技術士」資格の積極的な取得を期待する。

## 2 技術士になるには

第二次試験（筆記試験と口頭試験）に合格し、技術士として登録する必要があります（図1）。  
実務経験が7年以上あれば、第一次試験に合格した翌年に第二次試験を受験できます。

第一次試験は年齢・学歴・業務経歴等による制限はありません。

技術士制度と試験の詳細は、日本技術士会のホームページ（<http://www.engineer.or.jp/>）でご確認ください（過去問題も閲覧できます）。

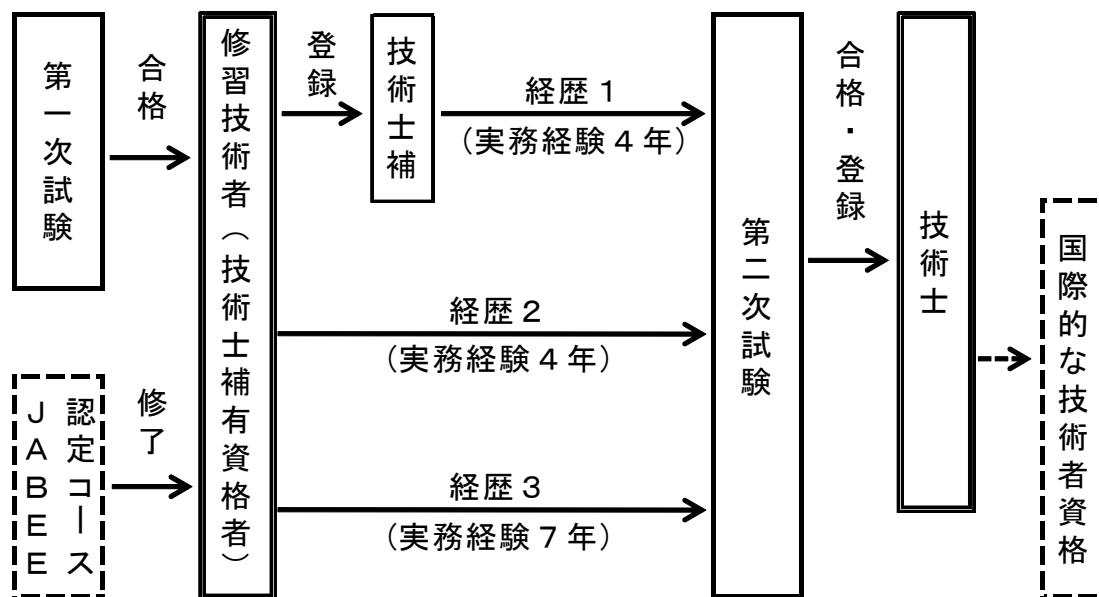


図1 技術士試験の流れ

注) 経歴3の実務経験には第一次試験受験前の経歴も算入可。大学院も2年まで経歴に算入可。

### 3 第一次試験の概要

#### 3.1 技術士第一次試験の科目

マークシート形式（五肢択一式）で行われ、次の3科目を受験します。  
概ね大学専門課程の卒業程度の難度とされています。

##### 1) 基礎科目

科学技術全般にわたる基礎知識出題分野は、次の(1)～(5)のとおり。

- (1) 設計・計画に関するもの（設計理論，システム設計，品質管理等）
- (2) 情報・論理に関するもの（アルゴリズム，情報ネットワーク等）
- (3) 解析に関するもの（力学，電磁気学等）
- (4) 材料・化学・バイオに関するもの（材料特性，バイオテクノロジー等）
- (5) 環境・エネルギー・技術に関するもの（環境，エネルギー，技術史等）

##### 2) 適性科目

技術士法第四章（技術士等の義務）の規定の遵守に関する適性。

##### 3) 専門科目

表1の20技術部門の中から1技術部門を選択。

木材学は一般的に「13 森林部門」となります。森林部門の専門科目の範囲は、林業／森林土木／林産／森林環境の中から出題されます。

表1 技術士の20の技術部門

技術部門	専門科目	技術部門	専門科目
01. 機械部門	機械	11. 衛生工学部門	衛生工学
02. 船舶・海洋部門	船舶・海洋	12. 農業部門	農業
03. 航空・宇宙部門	航空・宇宙	<b>13. 森林部門</b>	<b>森林</b>
04. 電気電子部門	電気電子	14. 水産部門	水産
05. 化学部門	化学	15. 経営工学部門	経営工学
06. 繊維部門	繊維	16. 情報工学部門	情報工学
07. 金属部門	金属	17. 応用理学部門	応用理学
08. 資源工学部門	資源工学	18. 生物工学部門	生物工学
09. 建設部門	建設	19. 環境部門	環境
10. 上下水道部門	上下水道	20. 原子力・放射線部門	原子力・放射線

### 3.2 技術士第二次試験について

業務経歴によりますが、最短で第一次試験に合格した翌年に受験できます。表の20の技術部門から部門を指定し、さらに選択科目として専門分野を一つ選択して受験します(表2)。

平成31年度から試験制度が変わり、森林部門の選択科目は、林業・林産、森林土木、森林環境の3つからの選択となります。試験方法も、全て記述式(論文式)となります。

林産選択の受験者は近年増加しており、また、他分野に比べて高い合格率となっています(図2)。

表2 第二次試験の出題の概要

試験科目	問題の種類
必須科目	「技術部門全般」にわたる専門知識、応用能力、問題解決能力および課題遂行能力
選択科目	「選択科目」に関する専門知識および応用能力
	「選択科目」に関する問題解決能力および課題遂行能力

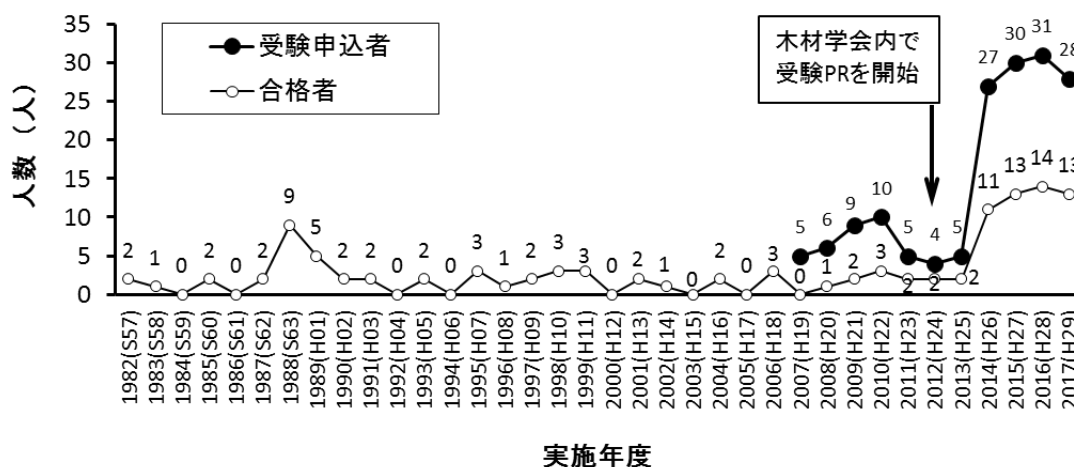


図2 技術士第二次試験（林産選択）の受験者の推移

#### 4 第一次試験の受験に向けて

今年度の技術士第一次試験の申込みが近く行われます(表3)。第一次試験はマークシート方式で、問題の難易度は大学卒業程度です。過去問題が日本技術士会のホームページで公開されていますし、問題集や参考書も市販されています。申込み関係の書類も同ホームページで入手できます。

表3 平成30年度技術士第一次試験の日程<sup>※1</sup>

受験申込書配布 <sup>※2</sup>	平成30年6月15日(金)～7月2日(月)
受験申込受付期間 <sup>※3</sup>	平成30年6月21日(木)～7月2日(月)
試験日 <sup>※4</sup>	平成30年10月7日(日)
合格発表	平成30年12月13日(木)[予定]

※1 詳細は、日本技術士会のホームページをご参照ください。

※2 日本技術士会のホームページから申込書がダウンロード可能。

※3 受験資格：年齢・学歴・業務経歴等による制限はありません。

※4 試験地：北海道，宮城県，東京都，神奈川県，新潟県，石川県，愛知県，大阪府，広島県，香川県，福岡県，沖縄県

ご希望の方には受験に参考となる情報を提供致します。技術士試験の概要や受験体験資料等をお求めの方は、電子メールにて下記へご連絡ください。

件名 技術士情報希望(第一次試験)  
宛先 日本木材学会 技術士小委員会委員 園田里見  
メールアドレス<sup>※</sup> satomi.sonoda@pref.toyama.lg.jp  
※全角@を半角@に置き換えてください。

以上